

東宝見聞録

あっという間に時は流れ、1学期が終了しました。新型コロナウイルス感染症の問題で、大変な状況での本年度が始まり、休校、分散登校、友人に会えない、部活動ができない4月・5月を過ごしました。6月・7月は、「新しい生活様式」を取り入ながらの学校生活がスタートしました。学校へ来て、友人と会える、勉強ができる、部活動ができる、当たり前前の喜びを改めて感じる事ができた1学期でした。

今回は、そんな状況下の6月・7月を振り返ります。



楽しく頑張っています!

6月1日、例年よりは1ヶ月遅く、海上自衛隊一般曹候補生として訓練に一生懸命励んでいる安樂有津(あんらく ゆず)さん(R1年度卒)が、凛々しい制服姿で本校を訪れました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の一環として、運動時以外は常時マスクを着用したり、16キロ遠泳の代替として45分間プールで泳ぎ続けたりするなど、訓練内容に影響が出ていることを話してくれました。

校長先生に近況報告する横顔は精悍でとても輝いていました。何より「辛いと思っていた訓練は、それほど辛くはなく楽しい。」という言葉に、希望する進路先に進んだ者の充実感が滲み出ていました。

佐世保市での教育訓練を受けた後、正式な海上自衛隊員として配属先が決まるそうです。



~よりよい学校づくり~

6月16日(火)5、6限に生徒総会が行われました。

代議員の3年網屋凜菜(あみや りんな)さん、2年岩川聖来(いわがわ せいら)さんが中心となり、生徒



会費の審議や、生徒からの要望を発表しました。要望案の中には、今後職員会議等で審議されるものもありました。これぞ、生徒による生徒のためのよりよい学校づくりですね。



感染症と人権問題

7月1日(水)に合同LHR「子どもの人権プロジェクト」が行われました。講師として、吉満ふくみ(よしみつ ふくみ)さんをお招きしました。新型コロナウイルス感染症が拡大し、それに伴って起きている人権問題や、その問題解決のため私たちにできることは何か、深く考えさせられる講話でした。

生徒の感想を紹介したいと思います。

○「新型コロナウイルスには3つの怖い顔があることを初めて知った。外出自粛要請等が全国に出され、溜まりに溜まったストレスや不安を他人にぶつけて、ストレス発散するのはよくないと思った。」

○「小さな言葉や態度が患者の方や医療で働く方も傷つけると分かった。不安なのは皆一緒なので、誰かを傷つけるようなことはしたくない。」

まだ、予断を許さない状況です。マスク着用、手洗いうがい、3密を避ける、そして、「正しい知識を持ち責任ある発言・行動をする」私たちにできることを継続していきます。



ビブリオバトル優勝!

7月12日(日)に「高校生ビブリオバトル2020」が市立図書館で行われました。ビブリオバトルとは、好きな本を持ち寄り、5分間で書評のプレゼンを行います。その後、「どの本が一番読みたくなったか?」を基準とした投票を行い、最も多くの票を集めた本がチャンプ本となるというものです。



今回参加した、2年生の前田真瑠(まえだ みる)さんは、宮沢賢治作である「銀河鉄道の夜」の本をプレゼンし、見事優勝しました。その本と出会ったきっかけを再現した演技も交えながら紹介したそうです。とても緊張したらしいですが、この日のことを話す真瑠さんの目は輝いていました。

また、8月15日(土)に市立図書館で行われる「平和の読み聞かせ」にも参加し、絵本の朗読をする予定です。彼女の活躍に今後も期待したいと思います。

熱戦! クラスマッチ!

7月17日(金)、男子バスケットボール、女子ドッジボール、女子バドミントンに分かれ、感染症対策を講じながら、熱い戦いが繰り広げられました。



体育館は、真剣勝負をする生徒の熱気と、応援のかん高い歓声で包まれました。特に、男子決勝では、3回の延長戦まで続く接戦であり、見応えたっぷりでした。

これを機に、2学期の体育祭・文化祭に向け、クラスの結束力が固

まることでしょう!

準備・運営は、現生徒会と新生徒会が行いました。クラスマッチでの生徒の笑顔は、生徒会メンバーの頑張りによって生み出されたといっても過言ではありません。準備・運営、ご苦労様でした!

